

## 第1章 地域概況

### 1. 本組合の構成

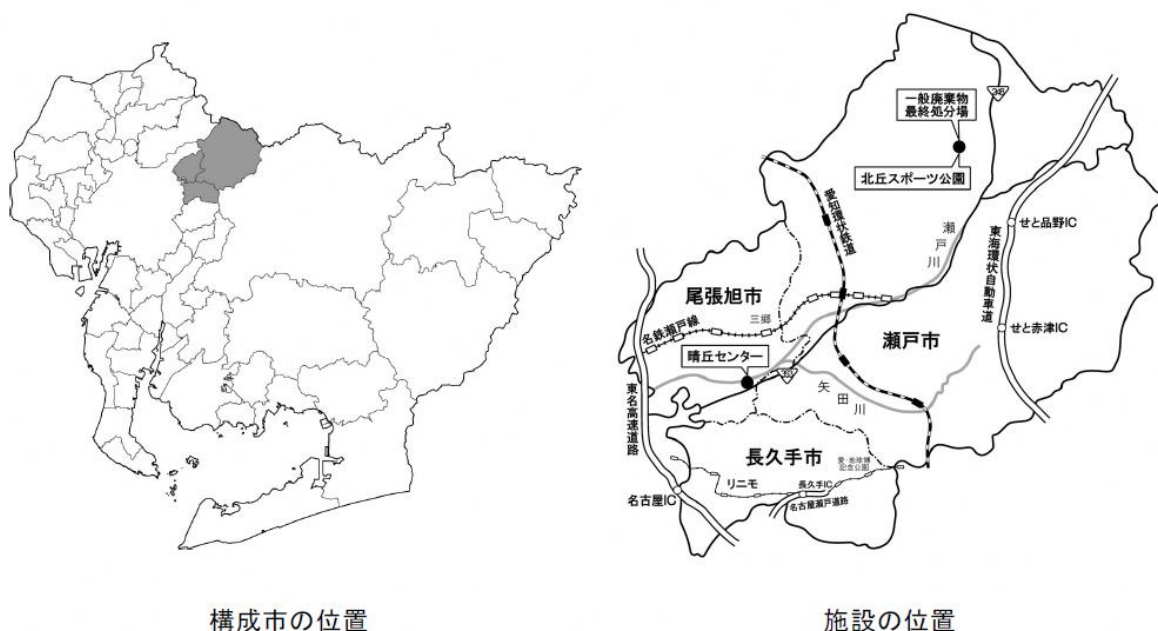
本組合は、瀬戸市、尾張旭市、長久手市の3市で構成されています。

### 2. 位置と自然環境

#### 2.1 位置

瀬戸市、尾張旭市、長久手市は愛知県尾張地域の北東部に位置し、名古屋市の中心部までは直線で約20kmの距離にあり、名古屋都市圏の都市です。北部に岐阜県多治見市、土岐市、東部に豊田市、南部に日進市、西部に名古屋市、春日井市と隣接しています。

図表1-1 構成市と施設の位置



#### 2.2 地勢

瀬戸市は東部の2つの山から西に連なる丘陵地に広がり、丘陵地から概ね南西に向かって流れる3水系が沖積平野を形づくっており、南西部で市街地が形成されています。また、南部および北西部に住宅団地が形成されています。

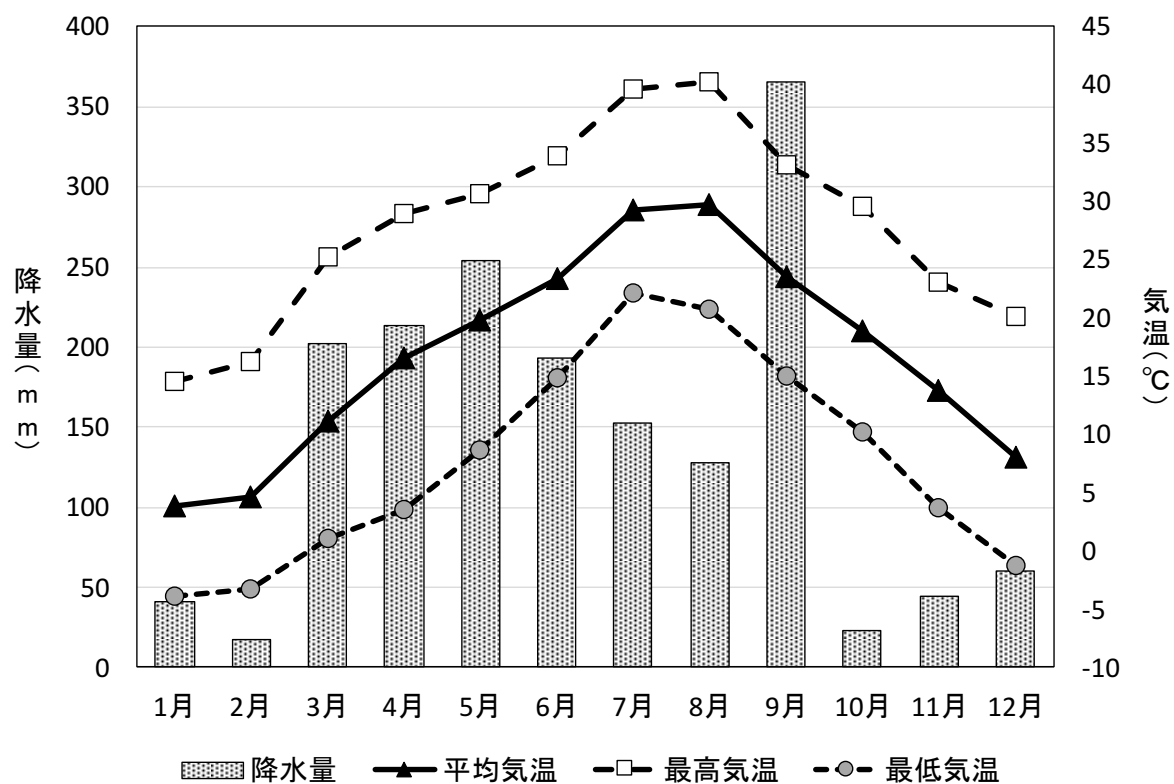
尾張旭市は、北部の丘陵地帯、中央部の沖積平野、南部の洪積台地に分けることができ、中央部の沖積平野のうち、名鉄瀬戸線沿いに市街地が形成され、矢田川北側は農地が広がっています。また、南部の洪積台地は新しい住宅地が形成されています。

長久手市は、尾張丘陵と尾張平野が接する地点に位置し、南東に高く北西に低い地形で、西部の名古屋市側に市街地が形成されています。

## 2.3 気象概況

本圏域は太平洋岸気候区に入り、暖候期は高温・多雨で、寒候期は小雨・乾燥する特徴があります。下図に2018(平成30)年の名古屋地方気象台における気温と降水量を示します。2018(平成30)年の年平均気温は16.9℃、最低気温は1月の-3.9℃、最高気温は8月の40.3℃であり、年間降水量は1,696mmです。

図表 1-2 名古屋気象台の降水量・気温(2018(H30)年)



### 3. 社会環境

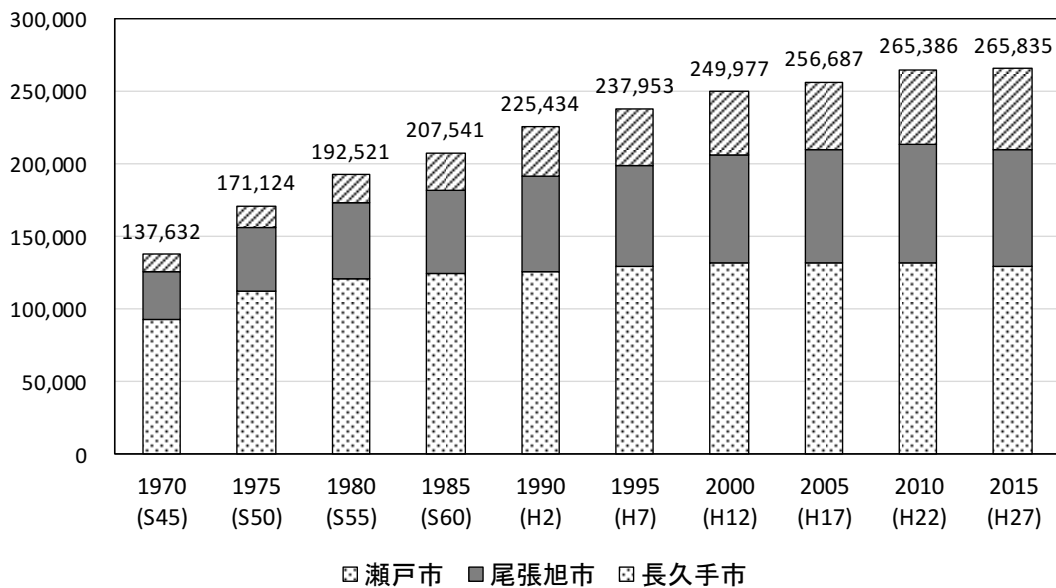
#### 3.1 人口

##### ① 人口及び増加率

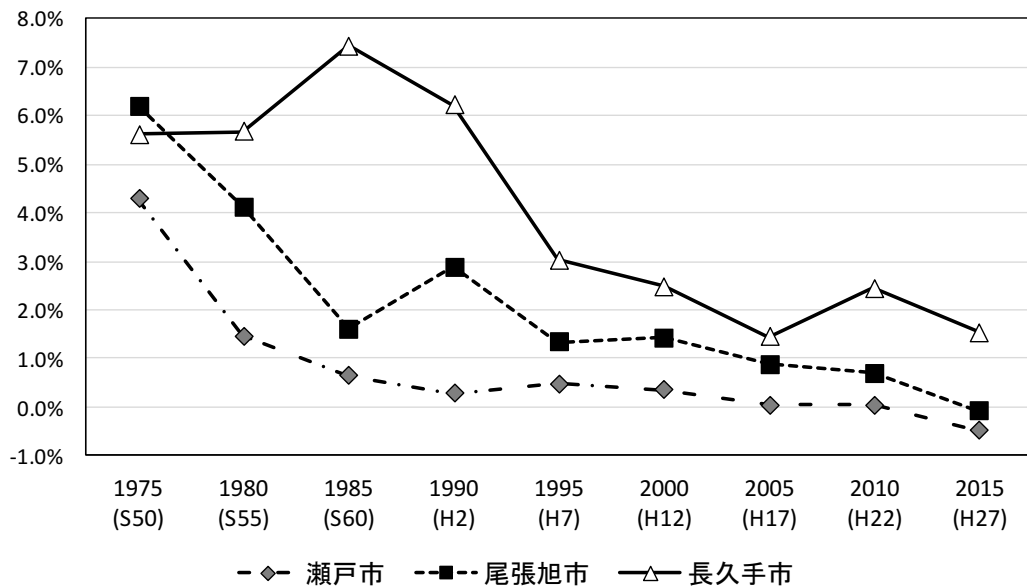
2018(平成30)年4月1日現在の各市の推計人口は、瀬戸市が129,900人、尾張旭市が83,372人、長久手市が57,466人で、3市合計では270,738人です。

国勢調査人口の推移をみると、瀬戸市は1980(昭和55)年より横ばいを続けていましたが、2015(平成27)年より減少に転じました。尾張旭市は人口増加を続けていましたが、同じく2015(平成27)年より減少に転じています。長久手市は人口増加を続けていますが、2015(平成27)年の増加は年率約1.5%であり、増加のスピードは鈍りつつあります。

(人) 図表 1-3 構成市における国勢調査人口の推移



(%) 図表 1-4 構成市における人口増加率の推移



② 5歳階級別人口

5歳階級別人口をみると、瀬戸市は45～49歳、尾張旭市及び長久手市は40～44歳階級が最も多くなっています。少子高齢化は瀬戸市及び尾張旭市では進行していますが、長久手市は若い世代が多くなっています。

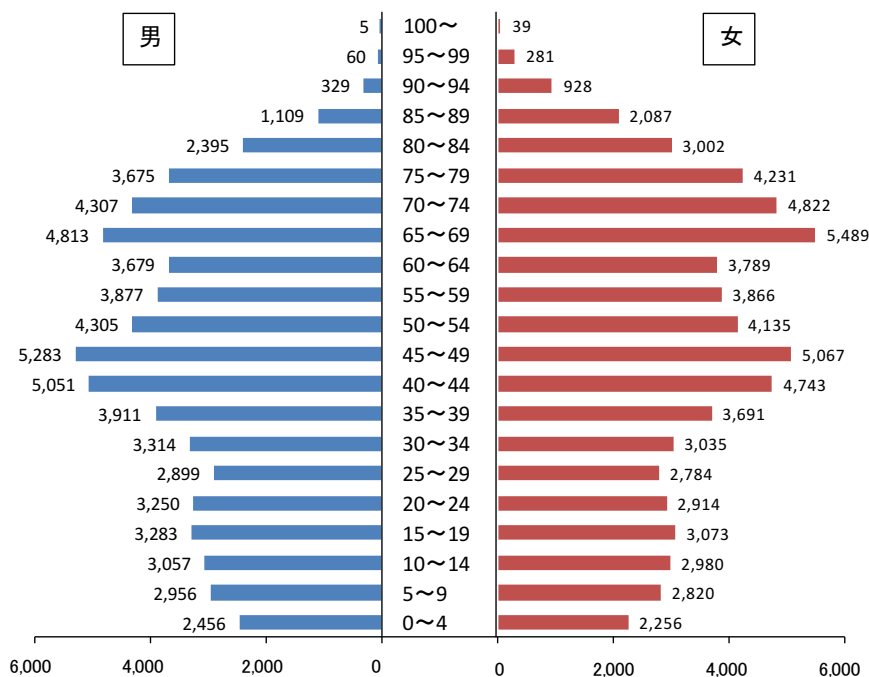
図表 1-5 構成市における5歳階級別人口

2018(平成30)年1月1日現在 (単位:人、歳)

区分	年齢等	瀬戸市		尾張旭市		長久手市		組合全体	
		男	女	男	女	男	女	男	女
年少人口	0～4	2,456	2,256	1,828	1,746	1,786	1,863	6,070	5,865
	5～9	2,956	2,820	2,040	1,978	1,942	1,802	6,938	6,600
	10～14	3,057	2,980	2,142	2,087	1,595	1,577	6,794	6,644
生産年齢人口	15～19	3,283	3,073	2,287	2,158	1,525	1,489	7,095	6,720
	20～24	3,250	2,914	2,047	1,985	1,575	1,518	6,872	6,417
	25～29	2,899	2,784	1,945	1,920	1,622	1,568	6,466	6,272
	30～34	3,314	3,035	2,302	2,236	2,113	2,133	7,729	7,404
	35～39	3,911	3,691	2,560	2,649	2,446	2,378	8,917	8,718
	40～44	5,051	4,743	3,533	3,453	2,714	2,699	11,298	10,895
	45～49	5,283	5,067	3,532	3,404	2,463	2,397	11,278	10,868
	50～54	4,305	4,135	2,806	2,771	1,901	1,799	9,012	8,705
	55～59	3,877	3,866	2,302	2,369	1,437	1,355	7,616	7,590
	60～64	3,679	3,789	2,076	2,264	1,140	1,272	6,895	7,325
老年人口	65～69	4,813	5,489	2,795	3,168	1,395	1,453	9,003	10,110
	70～74	4,307	4,822	2,451	2,712	1,081	1,215	7,839	8,749
	75～79	3,675	4,231	2,043	2,333	871	967	6,589	7,531
	80～84	2,395	3,002	1,318	1,638	542	678	4,255	5,318
	85～89	1,109	2,087	674	991	262	426	2,045	3,504
	90～94	329	928	190	498	76	223	595	1,649
	95～99	60	281	24	154	12	65	96	500
100～	5	39	4	24	1	18	10	81	
合計		64,014	66,032	40,899	42,538	28,499	28,895	133,412	137,465
総数		130,046		83,437		57,394		270,877	
年少人口比率		12.7%		14.2%		18.4%		14.4%	
生産年齢人口比率		58.4%		60.6%		65.4%		60.6%	
老年人口比率		28.9%		25.2%		16.2%		25.1%	

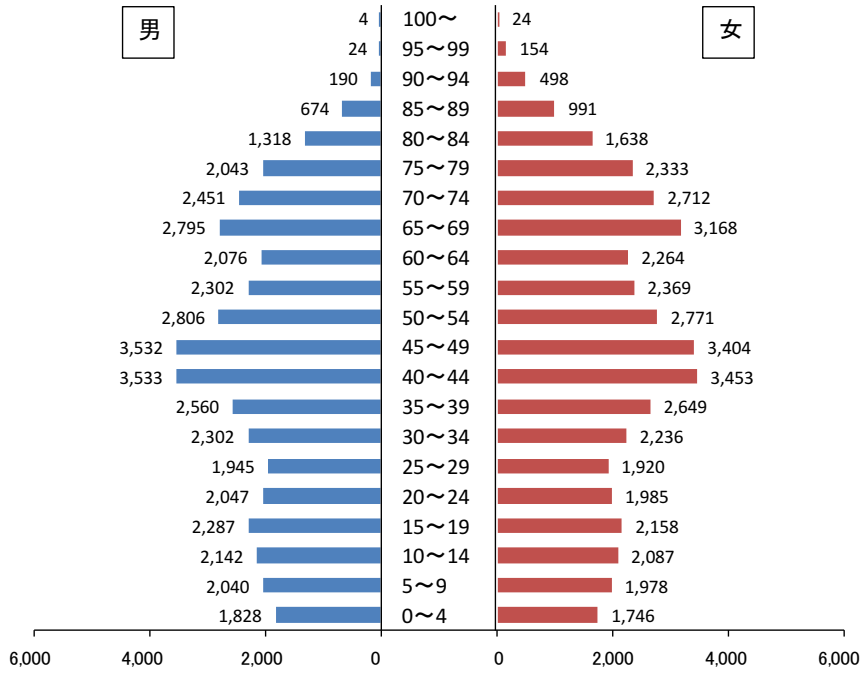
出典:住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成30年1月1日現在、総務省)

瀬戸市人口ピラミッド(5歳階級別)  
総人口130,046人



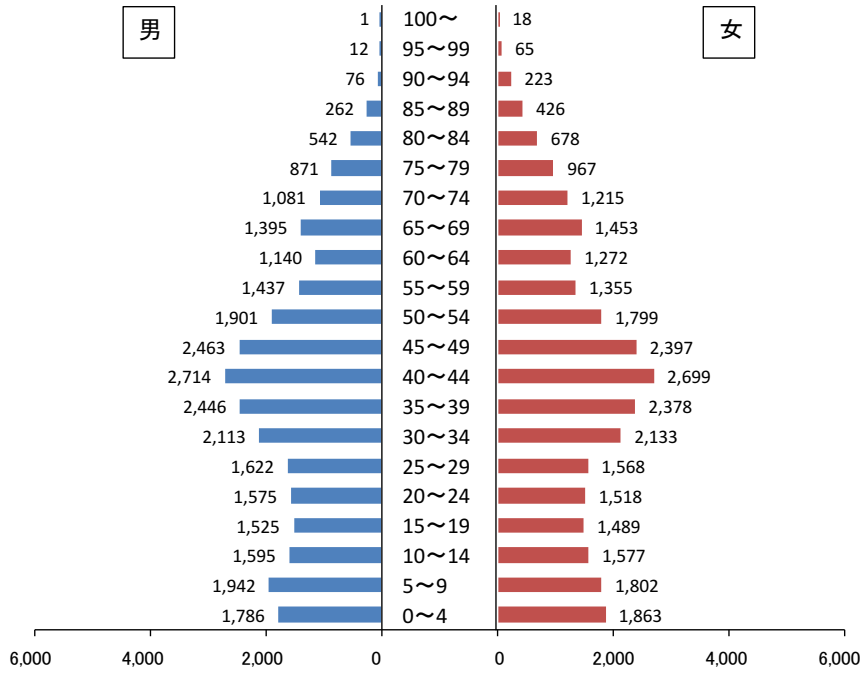
### 尾張旭市 人口ピラミッド(5歳階級別)

総人口83,437人



### 長久手市 人口ピラミッド(5歳階級別)

総人口57,394人



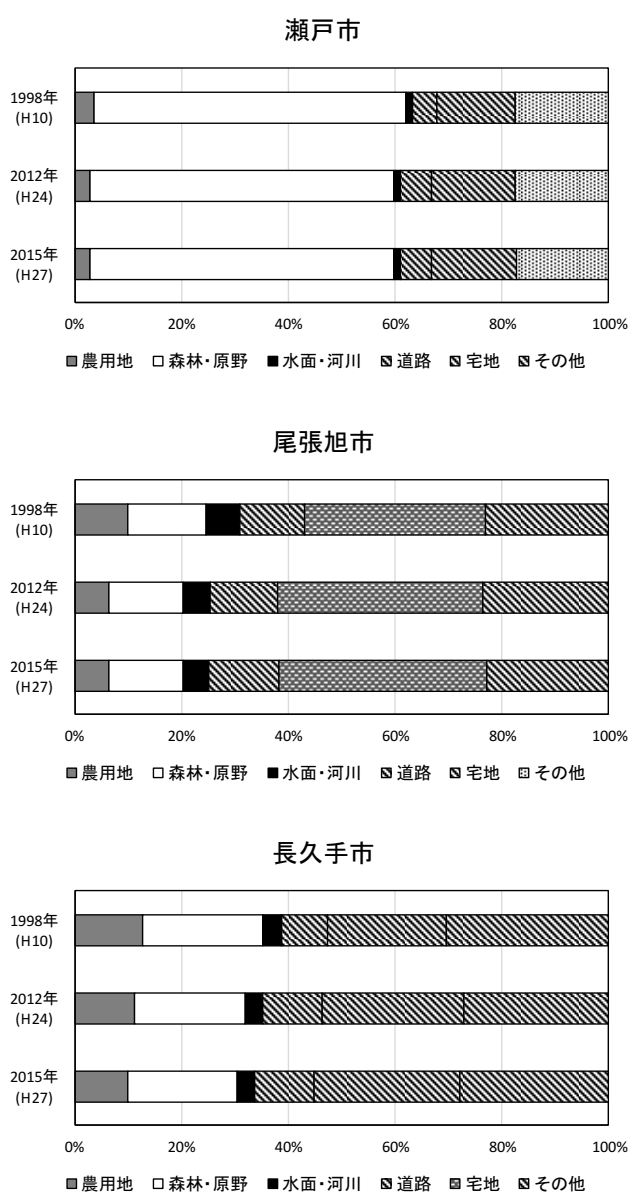
### 3.2 土地利用

瀬戸市の2015(平成27)年度の行政面積は11,140ha、地目別面積は森林が57%、宅地が16%、その他が17%となっており、森林が市全体の約6割を占める緑豊かな環境です。1998(平成10)年度からの17年間に森林は減少し、宅地は増加していますが、あまり大きな変化はありません。

尾張旭市の2015(平成27)年度の行政面積は2,103ha、地目別面積は宅地が39%、森林が14%、その他が23%となっています。経年的にみれば宅地面積は増加し、17年間で約15%増加している一方、農用地と森林は減少しています。

長久手市の2015(平成27)年度の行政面積は2,155ha、地目別面積は宅地が27%、森林が20%、農用地が10%、その他が28%となっています。長久手市では1972(昭和47)年から大規模な土地区画整理事業が始まり、農地および森林が減少し、宅地は17年間で約22%増加しています。

図表 1-6 構成市における土地利用の推移



出典：愛知県統計年鑑（平成29年度刊）

### 3.3 産業

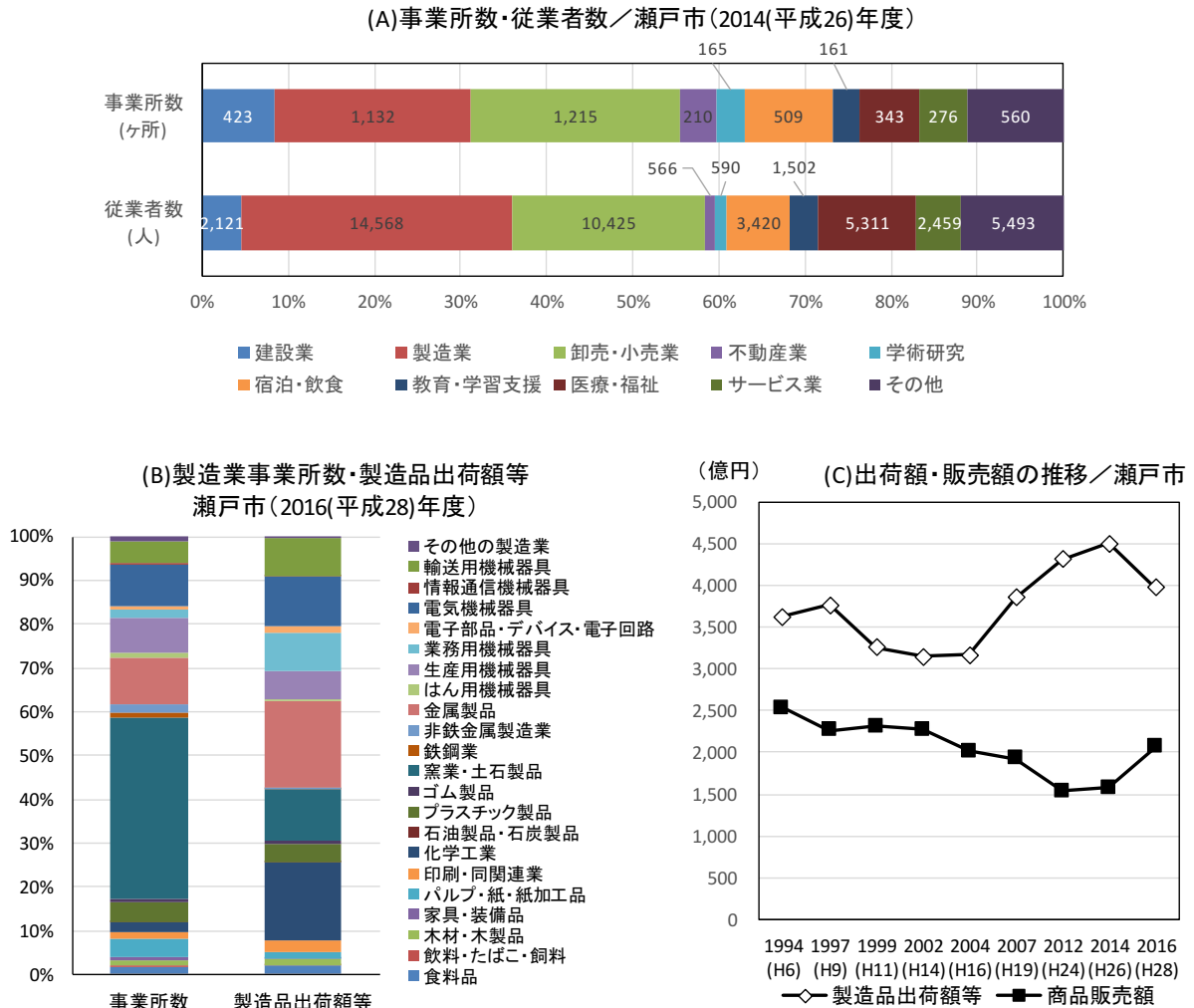
#### ① 瀬戸市

産業別事業所数は、2014(平成26)年現在4,994事業所あり、従業者数は46,455人です。事業所数では卸売・小売業が1,215事業所と最も多く、全体の24%を占めています。次いで製造業23%、宿泊・飲食業10%と続いています。従業者数では、製造業が14,568人と最も多く、全体の31%を占めており、次いで卸売・小売業・飲食店22%、医療・福祉11%と続いています。

製造業では、2016(平成28)年現在、窯業・土石製品が175事業所と最も多く、全体の41%を占めています。製造品出荷額では金属製品が最も多く、全体の20%を占めています。製造品出荷額の経年変化をみると、1999(平成11)年度から2004(平成16)年度にかけて低迷したものの、その後増加し、2016(平成28)年度には3,978億円に達しています。

商業の商品販売額の経年変化をみると、年々少しずつ減少し、2012(平成24)年度は1,539億円まで落ち込みましたが、2016(平成28)年度には2,060億円まで回復しています。

図表 1-7 瀬戸市の産業構造



出典：(A) 愛知県統計年鑑（平成29年度刊）、(B) 平成28年工業統計表「市区町村編」（経済産業省）、(C) 各年度の工業統計表及び商業統計表（経済産業省）

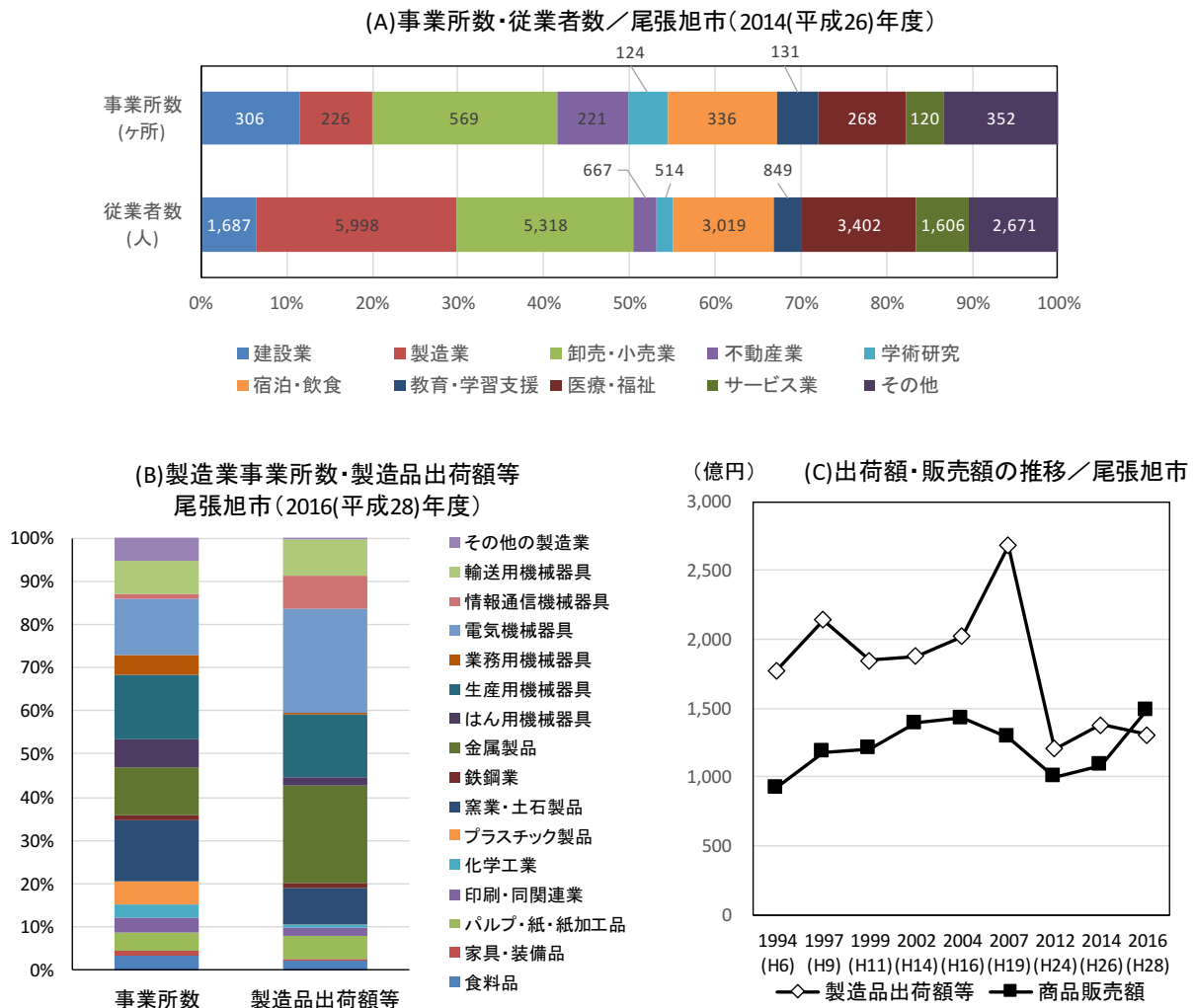
② 尾張旭市

産業別事業所数は、2014(平成26)年度現在2,653事業所、従業者数は25,731人です。事業所数では卸売・小売業が569事業所と最も多く、全体の21%を占めています。次いで宿泊・飲食13%、建設業12%と続いています。従業者数は製造業が5,998人と最も多く23%を占めており、次いで卸売・小売業21%、医療・福祉13%と続いています。

製造業では、生産用機械器具、電気機械器具、窯業・土石製品、金属製品がそれぞれ10事業所以上となっています。製造品出荷額では電気機械器具が全体の24%、生産用機械器具が15%を占めています。製造品出荷額の経年変化をみると、1997(平成9)年度から2004(平成16)年度にかけてはほぼ横ばい、2007(平成19)年度に増加して2,684億円に達したものの、以降は減少しています。

商業の商品販売額は2007(平成19)年度から減少傾向でしたが、2016(平成28)年度は1,484億円まで回復しています。

図表 1-8 尾張旭市の産業構造



出典：(A)愛知県統計年鑑（平成29年度刊）、(B)平成28年工業統計表「市区町村編」（経済産業省）、(C)各年度の工業統計表及び商業統計表（経済産業省）



③ 長久手市

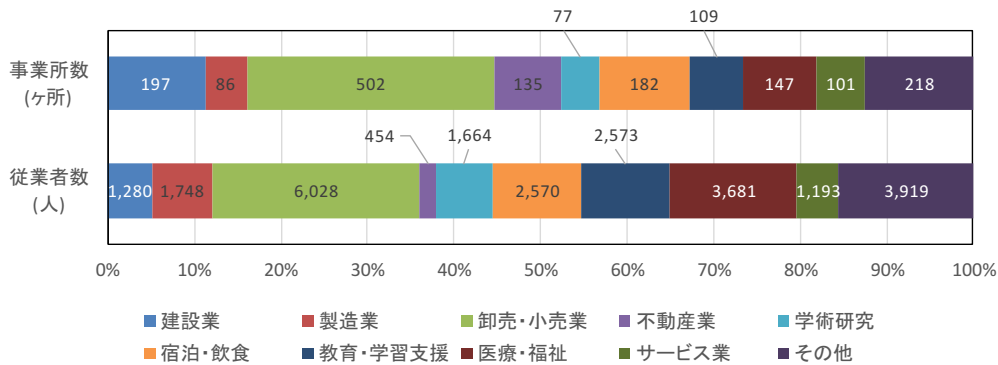
産業別事業所数は、2014(平成26)年度現在1,754事業所、従業者数は25,110人です。事業所数では卸売・小売業502事業所と最も多く、全体の29%を占めています。次いで建設業11%、宿泊・飲食10%と続いています。従業者数も卸売・小売業が6,028人と最も多く24%を占めており、次いで医療・福祉15%、宿泊・飲食と教育・学習支援が10%と続いています。

長久手市の製造業は、事業所数が19事業所、製造品出荷額等が180億円(2016(平成28)年度)と、他の2市に比べて規模が小さくなっています。製造品出荷額の経年変化をみると、1997(平成9)年度から2004(平成16)年度にかけて減少し、その後はそのまま横ばいに推移しています。

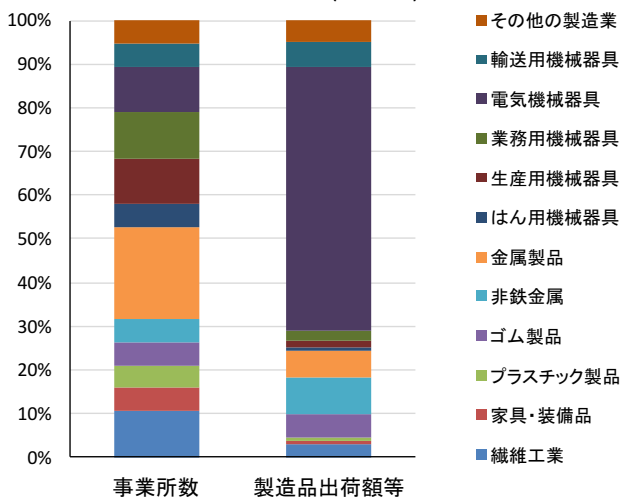
商業の商品販売額は1997(平成9)年度から2004(平成16)年度にかけて徐々に減少してきましたが、2007(平成19)年度は一転して増加、2012(平成24)年度に落ち込んだものの、2016(平成28)年度には2,069億円に達しています。

図表 1-9 長久手市の産業構造

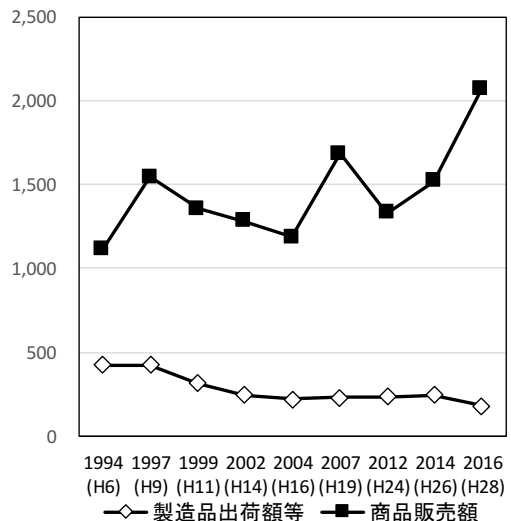
(A)事業所数・従業者数／長久手市(2014(平成26)年度)



(B)製造業事業所数・製造品出荷額等  
長久手市(2016(平成28)年度)



(C)出荷額・販売額の推移／長久手市



出典：(A)愛知県統計年鑑(平成29年度刊)、(B)平成28年工業統計表「市区町村編」(経済産業省)、(C)各年度の工業統計表及び商業統計表(経済産業省)